



もろきた通信

佐賀市立諸富北小学校

学校だより No.13

令和元年12月5日(木)

校長 築波 真史

学校教育目標

＜自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成＞

2学期末の懇談会に是非参加をお願いします

2学期もいよいよ大詰めとなり、学校では学習のまとめや生活の振り返りなど、学期末が近づいているのを実感している日々です。一昨日と昨日は佐賀県学習状況調査の12月調査を行いました。結果については年明けに保護者の皆様へお知らせする予定です。

さて、既に学校から案内をさしあげ先日カラー刷りのチラシも配布しましたが、12月20日(金)は学期末の学級懇談会を予定しています。例年ですと各学級で2学期の学習面・生活面の振り返りや冬休みの暮らしなどが話題の中心になっていて、平日開催ということもあって参加していただける保護者の方もあまり多くはないと聞きました。

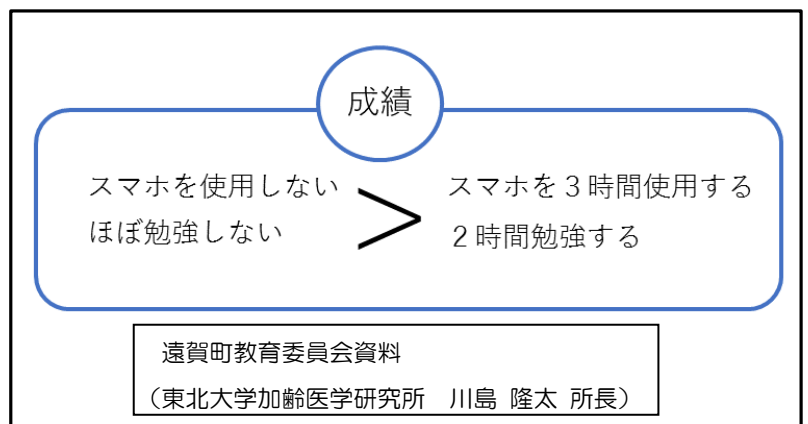
しかし、本年度は配布したチラシにもありますように、「スマートフォンの功罪」についての保護者の皆様同士の座談会に担任も参加するという形式で行いたいと考えています。保護者の皆様もよくご存知と思いますが、先月大阪の小学校6年生の女子児童がSNSで誘い出された栃木県の男に1週間近く監禁されるという事件が発生しました。もちろん、悪いのは連れ去り監禁した男であることは明白ですが、では女の子やその保護者の方にとって、全く防ぎようのない事件だったのでしょうか？

4月に全保護者の方に配布しましたように、佐賀市PTA協議会では「原則、スマホを含む携帯電話を子どもたちに持たせない」としています。しかし、本校でも実際に自分用・家族用に限らず携帯電話やスマートフォンを自由に扱える環境にある児童も大変多いようです。1学期末に子どもたち向けに行ったアンケート調査によりますと、本校児童のうち既に多くの児童が「自分用のスマートフォンまたは携帯電話を持っている」と答えており、持ち始めた次期としては「3年生くらい」が一番多いというデータがあります。

また、最近インターネットを媒体とした様々なトラブルが報道されていますが、本校においてもSNSやネットゲームが不規則な生活や睡眠不足の原因になっていたり、友人間のトラブルに発展してしまったりする事案が起きています。このことは本校だけでなく、先日行われた諸富町PTA連絡協議会(諸P連)の理事会においても、今後の中心的な取り組みの一つとして取り上げ、各学校で問題を共有して学校とPTAが協力してこの問題に対応していくことにしました。

さらに、最近の調査では児童生徒間のトラブルだけでなく、学力向上に対しても大きな影響を与えていることが明らかになってきています。右の図は宮城県仙台市において中学生22,390人を対象に数学の試験結果と平日の家庭学習のなさが、平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間の関係を調べた結果です。なんと、2時間勉強してもスマホを3時間利用する子どもは、ほぼ勉強はしないけれどスマホも使わない子どもよりも成績が低いという結果が出たそうです。

また、SNSについても、中学校の4教科(数学・国語・理科・社会)の平均偏差値が未使用者と長時間使用者を比べると差が10も開いていることが明らかになったということです。これは、メッセージが着信したことを知らせる通知音などが、知らず知らずのうちに考える力や集中力を消耗させていると考えられています。そこでこの調査で結論付けておられることは、「スマホの使用自体が成績を下げる原因にな



っている」ということです。家族と連絡がとれ、調べ物にも便利とおもわれるスマートフォンですが、子どもたちの学力向上には大きな弊害があると言えるのではないのでしょうか。

そこで、本校では学期末の学級懇談会の時間を利用してPTA主催の座談会を開き、たくさんの保護者の皆様に子どもにスマートフォンを持たせることの功罪や、保護者の機器や使い方の管理についての意見交換の場としていただきたいと思います。学校からも子どもたちへアンケートの結果などを資料として提供し、我々教師も一緒に考えていきたいと思えます。大変お忙しい中とは存じますが、なんとかご都合をつけて参加していただければと思います。

小中連携による学力向上推進地域指定事業による公開授業

本校は本年度と来年度の2年間、諸富中学校、諸富南小学校とともに佐賀県より「小中連携による学力向上推進地域指定事業」という研究指定を受けています。今年4月からスタートした研究では、現在の諸富校区の子どもたちの学力の向上のために必要な手立てとしてはどんなことが考えられるのかを3校合同で話し合い、共通のキーワードとして「読解力の向上」をあげて各学校で授業改善など学力向上の手立てを実践することにしました。

本校では読書活動の推進や脳トレなどもその一環として取り組んでいるわけですが、11月26日（火）には本校の校内研究の対象である国語科の授業で2年2組、4年1組、5年1組の公開授業を行いました。当日は諸富中学校や諸富南小学校の先生方やその他の学校の先生方も授業を参観していただきました。子どもたちも多くの先生方に参観されて少し緊張気味でしたが、落ち着いて授業に臨み、しっかりと自分の意見を発表したり授業の後の授業研究会では参観された先生方に授業改善のための手立てについて様々なご意見をいただいたり、佐賀市教育委員会の西原指導主事に助言をいただいたりしました。来年2月17日（月）には第2回の公開授業を行う予定です。



幼保小連携わくわくまつり

小学校から中学校への進学時と同様、幼稚園から小学校への進学も子どもたちにとって大きな節目であり、スムーズな接続のために様々な手立てをとる必要があります。本校においても、幼稚園・保育園と小学校の連携事業のひとつとして、毎年来年度1年生として入学してくる園児を対象に、諸富北幼稚園となかよく保育園の園児約60名を招いて「幼保小連携わくわくまつり」として年長児と1年生とのふれあい体験活動を11月27日（水）に行いました。



体育館での挨拶のあと、1年生のみんながグループごとに考えた手作りの遊びを通して、小学校の様子を知ること入学への不安を和らげたり、他の園から同じ小学校へ入学する同級生と交流したりする機会となります。また本校1年生にとっても、自分たちで計画し、お世話をするを通してもうすぐ2年生になる自分の成長を実感できる機会となりました。



体育館での挨拶のあと、1年生のみんながグループごとに考えた手作りの遊びを通して、小学校の様子を知ること入学への不安を和らげたり、他の園から同じ小学校へ入学する同級生と交流したりする機会となります。また本校1年生にとっても、自分たちで計画し、お世話をするを通してもうすぐ2年生になる自分の成長を実感できる機会となりました。